

山 形 県

庄内総合支庁 森林整備課 林業普及指導員
阿 部 健 太

森林経営管理制度の推進に向けた市町村支援の取組 ～庄内地域における航空レーザ測量及び解析の共同実施～

1 テーマの趣旨・目的

森林経営管理制度がスタートし、私有林における森林資源情報の重要性が増している。市町村からは高精度な情報を整備するため、県主導での広域的な航空レーザ測量の実施について要望があり、山形県森林管理推進協議会等で実施方法等の協議を重ねてきた。また、林野庁東北森林管理局からも国有林部分について参加希望があった。

そこで、山形県では森林資源デジタル化推進事業として令和4年度から県と市町村、国が共同で財源を負担した上で、航空レーザ測量業務委託を一括発注し、高精度な地況・林況情報（デジタルデータ）を取得している。

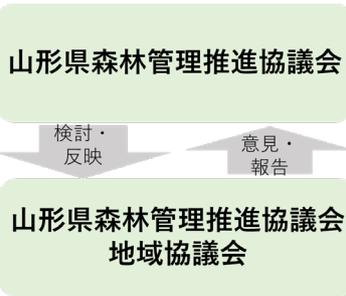


図1 山形県森林管理推進協議会

2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

(1) 現状

森林資源デジタル化推進事業では、初年度に航空レーザ計測を行い、その成果を活

用した森林資源解析を2年目に実施することとしており、庄内地域では、令和4年度に航空レーザ測量、令和5年度にデータ解析を共同で実施した。



図2 庄内地域

(2) 取組内容

庄内総合支庁の林業普及指導員は、森林経営管理制度について市町村への支援業務を県から受託している「(公財)やまがた森林と緑の推進機構」と連携・協力して管内市町を巡回し、助言、指導を行っている。また、庄内地域における森林経営管理制度の促進のため、管内市町、庄内森林管理署、経営管理実施権の認定を受けることを希望する民間事業者等を構成員とした「庄内地域森林管理推進協議会」を開催している。

これら市町巡回及び地域協議会の中で、森林経営管理制度に係る情報交換、航空レーザ測量の解析結果の活用についての意見交換を実施してきた。



写真1 庄内地域森林管理推進協議会

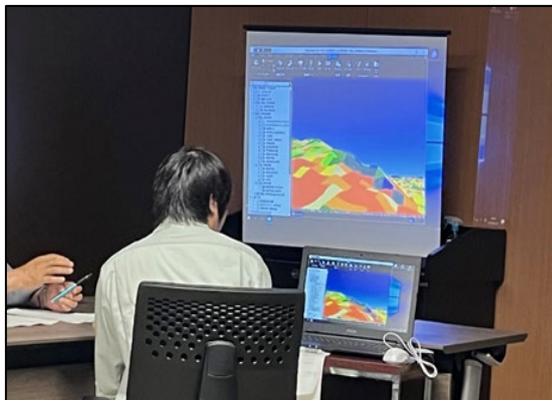


写真2 レーザ測量解析結果の3D画像による確認方法を事業者と共有

(3) 成果

解析結果を管内市町と共有し、各市町では森林経営管理に利用してきている。

- ・鶴岡市：解析結果に基づき経営に適する森林のゾーニングを再度行い、実施方針を見直す計画。また、地籍調査未実施の地区では、解析結果を基に境界明確化を実施中
- ・酒田市：森林所有者への経営管理に対する意識調査結果と解析結果を有効活用し、素材生産事業者と作業推進委員会を設置し、間伐等の森林整備を効率的に実施する計画
- ・庄内町：集積計画案作成の際に、解析結果

を活用する計画

- ・遊佐町：解析結果に基づき意向調査を実施する計画

(4) 課題

各市町では、森林経営管理制度業務に航空レーザ測量の解析結果を利用しているが、マンパワー不足もあり、より効果的な活用が課題となっている。

また、庄内地域に限らず、解析結果を林業事業体に提供する際の取扱いが決まっておらず、県内の市町村間、事業者間において活用に差が生じる可能性がある。

3 今後取組むべき内容

森林経営管理制度の適切・円滑な運用に向け、管内市町の担当者及び林業事業者を対象に航空レーザ測量の解析結果データの利用方法や必要機材、ソフトなどについての研修会を開催するなどの支援を強化していく。

また、市町職員のマンパワー等の状況に合わせて必要な支援をしていくとともに、解析結果データの先進的な活用事例について、庄内地域森林管理推進協議会や、普及指導活動の中で収集・情報共有しながら、効果的に解析結果を活用できるよう指導・普及していく。